

家で看取るということ ～最期まで自分らしく生きる～

皆さんはいつか必ず迎える人生の終焉をどこで迎えたいと思いますか？
現在は約8割の方が病院で亡くなる時代です。病院で最期まで治療を続けて死を迎えることを望むのか、住み慣れた自宅や施設で死を迎えることを望むのか？死を迎えることを考えることは、亡くなるまでどう生きるかを考えるかということ。最期まで自分らしく生きるためにはどうすればいいか、一緒に考えてみましょう。

日時 平成29年4月22日(土) 14:00～16:00(開場 13:30)

会場 緑公会堂 緑区寺山町118番地 緑区総合庁舎2階

申込不要
入場無料
定員500名

※JR横浜線市営地下鉄
グリーンライン中山駅南口から 徒歩5分
ご来場は公共交通機関をご利用ください。



講師 ながい やすのり
永井 康徳 氏

医療法人ゆうの森 たんぼぼクリニック

【主な著書】

- ・「楽なように やりたいように 後悔しないように 改訂版」
たんぼぼ企画株式会社
- ・「たんぼぼ先生の在宅報酬算定マニュアル第4版」日経BP社他

【ホームページ】 <http://www.drstampopo.jp/index.html>

PROFILE

僻地での国保診療所勤務後、愛媛県松山市で在宅医療専門クリニックを職員4人で開業。現在は職員100人で、情報の共有と方針の統一を図り、患者本位の多職種チームで患者を診ることを基本理念とする。平成22年には、市町村合併の余波で廃止となった人口約1200人の町の市立のへき地診療所を民営化し、運営。松山市で約470人、西予市明浜町で約60人の在宅患者をマネジメントする。平成28年からは、在宅患者のための在宅療養支援病床「たんぼぼのおうち」を開設。

【主催】 緑区在宅医療相談室・横浜市緑区医師会

【協力】 緑区役所 【問合せ】 緑区在宅医療相談室 電話 045-937-2303